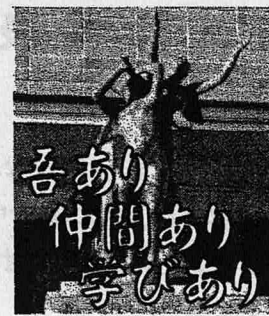


北へ

令和4年(2022年)4月7日(木)発行



第55回入学式 式辞

札幌市立栄中学校長 桑原俊二

たいへんな大雪に見舞われた、ここ北国札幌にも春の陽光を温かく、優しく感じる季節がやってきました。

春は夢が始まる季節です。春爛漫の今日の佳き日に、札幌市立栄中学校第55回入学式を迎えることができましたことを、心からうれしく思います。

本来であれば、PTA会長の島村 顕子様をはじめ、小学校の校長先生や諸先生方、地域の皆様、学校評議員の皆様のご臨席を賜り、在校生とともに行いたいところでしたが、今年も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、誠に残念ではありますが、新入生の皆さんと保護者様、教職員のみで挙行することとなりました。少し寂しい気持ちがありますが、温かな式にしようと教職員一同準備を進めて参りました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生並びに教職員一同、心より歓迎いたします。新入生の皆さんは、今、どんな気持ちでいるでしょうか。夢や目標に向かって「よし、頑張るぞ」と強く決意している人もいると思います。また一方で、新しい環境の中で「うまくやっていけるだろうか。」という不安な気持ちも少なからずあるかと思います。

大丈夫です。この場を共にすることはできませんでしたが、2年生、3年生が皆さんを優しく温かく迎え、そして力強く引っ張ってくれます。熱意のある本校の先生たちが、親身になって関わり導いてくれます。そして、地域の方々が、温かく見守り支援をしてくれます。多くの人たちが、皆さんを応援しています。どうか安心して、学習をはじめ学校行事、部活動などに打ち込んでください。

今日から始まる中学校生活で、皆さんに、特に身に付けてほしいことが、三つあります。

一つ目は、「授業を大切にすること」です。小学校では、ほとんどの教科を担当の先生が教えてくださっていたと思いますが、中学校では、それぞれの教科を専門の先生が教えてくれます。学習する内容もより専門的なものとなっていきます。

先生の話や黙って聞いて、ノートに写すだけの「受け身の学習」ではなく、自分から考え、より深く追究する「積極的な学習」が大切になります。

勉強することの本当の意味は、テストで良い点数をとることや、人と競争することではなく、自分の力を最大限に発揮し、将来に生かす力を身に付けることです。何事も途中で諦めたり、投げ出したりすることなく、自分の力を高めるための努力を大切にしたいと思います。学ぶことで、将来自分がやりたいこと、進みたい道、そして夢というものが見えてくるのだと思います。

二つ目は、「思いやりをもつ」ことです。思いやりの気持ちをもつことは優しさをもつことです。自分とは異なる他者を認めて受け入れる。このことによって、お互いに助け合う友達の輪ができます。そうした友達は何にも代え難い一生の宝ものとなります。友達と一緒に、また友達の力を借りながら、自分の目標や夢の実現に向かってほしいと思います。

三つ目は、「やればできる」という自信をつけてほしいということです。そのためには学習・部活動・委員会活動などに積極的に参加することです。難しい問題の解決に向かうことで、様々な工夫や根気が養われます。解決に向かう中で本当の達成感を味わい、自分の良さを見つけることができ、自信につながっていきます。困難無きところに進歩無しです。様々なことに挑戦してほしいと思います。

最後に、今日のこの場に参加できなかったご家族の方もいらっしゃるかと思いますが、家族の皆さんに、「今日、無事入学式を終え、中学生になることができました。」と感謝の気持ちをもって伝えてほしいと思います。

今後、皆さんが経験する出会いや出来事は、自分の夢や目標に向かって、進む方向や生き方を決める助けとなります。また、臆病な自分を勇気ある人へと変えてくれることもあります。そのような出会いや出来事を通して、よりよい考え方や生き方を学びながら、「支え合って生きていくこと」の大切さを理解してほしいと思います。

皆さんが、仲間とともに学び合い、励まし合いながら、元気に、はつらつと中学校生活を送る姿を期待し、式辞といたします。

新入生代表の言葉

1年4組 酒井 結愛

雪解けが進み、暖かな春の訪れとともに私達は栄中学校の入学式を迎えることとなりました。日本をはじめ世界では、新型コロナウイルスの感染が拡大し、私達の生活に大きな影響を与えています。こうした中、このような入学式を行わせていただけたことを心から嬉しく思っています。新入生一同を代表して感謝申し上げます。

小学校で過ごした6年間は友達や先生方、家族に支えられ成長することができました。たくさんの思い出を胸に小学校を卒業し、新たなステージである中学校へ進みだします。ほんの少しの不安と新しい生活への期待で胸がいっぱいです。

私の中学校生活での目標は、「初めてのことや慣れない場所でも積極的に行動し、みんなと仲良くなること」そして「何事にも全力で取り組むこと」です。そのために一日一日を後悔のないように過ごしていきたいと思えます。

最後になりますが、まだ私達、新入生は右も左もわからないような状況です。職員の皆様、上級生の皆様、温かい目で見守っていただきますようお願いいたします。

在校生代表の言葉

3年4組 寺田 智哉

暖かい日差しが降り注ぎ、春の訪れを感じる今日この頃。新入生の皆さんご入学おめでとうございます。ようこそ栄中学校へ。

これから皆さんには、様々な変化が訪れます。例えば、教科担任制になることや、部活動など、小学校と異なることが多く、不安も多いかと思えます。でも、心配することはありません。教科担任制では、個性豊かな先生方がわかりやすく教えてくれます。部活動では小学校と違って他校との試合や大会があり、団結感や一体感の素晴らしさが味わえます。

他にも、違う学校から生徒が集まり、仲の良い人とクラスが分かれてしまった人もいるかもしれません。しかし、それをマイナスにとらえてしまってはいけません。なぜなら、そこには新しい出会いもあるからです。

そして、中学校には様々な行事があります。近年は新型コロナウイルスにより、中止や規模の縮小を余儀なくされていますが、昨年度は校外学習と球技大会と学校祭を行うことができました。校外学習ではみんなでご飯を作ったりレクをしたりします。球技大会では、いろいろなスポーツで競い合います。学校祭では、みんなで一つの作品を作り上げます。他にも、例年では合唱コンクールがあり、クラス一丸となって金賞を目指します。これらの行事の内容は多種多様ですが、どの行事も仲間と協力することが大切です。

そして、これらの行事を通してより一層クラスのきずなが深まっていき、年度末にはかけがえのない仲間となっているでしょう。

新入生の皆さん、これからの3年間は長いようであっという間に過ぎてしまいます。その過程の中には、皆さんや皆さんの仲間が辛い時もあるかもしれません。そんな時には、私達先輩や先生を頼ってみてください。きっと手を差し伸べ、解決へ導いてくれます。

最後に、これから私達とともにこの伝統ある栄中学校を盛り上げていきましょう。皆さんとの学校生活を楽しみにしています。

